

山口県ペルー協会活動10周年記念

世界ふしぎ発見に出演の

阪根 博

ペルー・天野博物館事務局長
来日講演会

インカ文明の謎に迫る

～マチュピチュ、ナスカの地上絵、新大陸最古のピラミッドなど～

2012年 **10月21日(日)** 定員150人

【会場】山口県旧県会議事堂議場(国重要文化財)
(山口市滝町1-1 山口県庁内)

【時間】13:00開場 13:30～15:30

※駐車場は県庁内駐車場をご利用ください。

来場者多数の場合は、入場を
お断りすることがあります。

入場無料

ペルー山口学校
支援募金箱を
設置しています

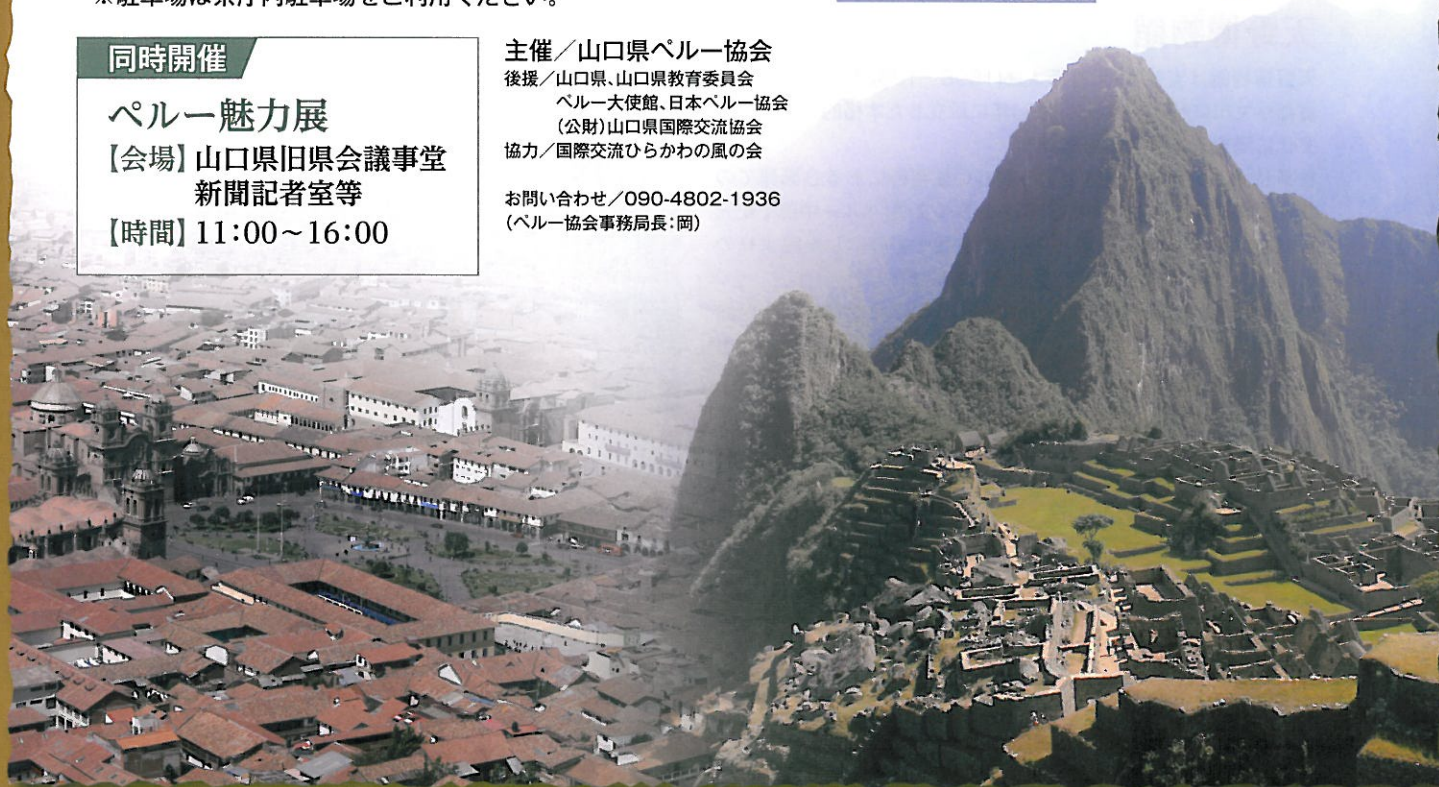
同時開催

ペルー魅力展

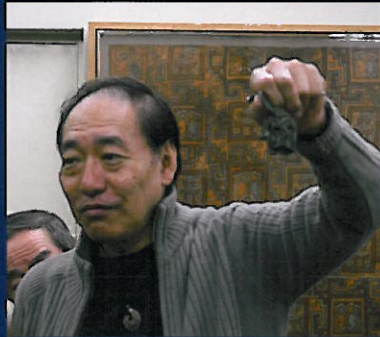
【会場】山口県旧県会議事堂
新聞記者室等

【時間】11:00～16:00

主催／山口県ペルー協会
後援／山口県、山口県教育委員会
ペルー大使館、日本ペルー協会
(公財)山口県国際交流協会
協力／国際交流ひらかわの風の会
お問い合わせ／090-4802-1936
(ペルー協会事務局長：岡)



PROFILE



さか ね ひろし 阪根 博

ペルー共和国リマ市 天野博物館事務局長・学芸主任

1948年生まれ。東京出身。早稲田大学教育学部卒業。ペルー共和国リマ市在住。

天野博物館を設立、運営していた天野芳太郎氏の孫にあたり、ペルーのアンデス文化、とりわけチャンカイ文化の研究を行っている。

およそ40年にわたり自ら発掘調査にも携わり、ペルーの文化研究、土器や織物の収集・研究で広く考古学界に知られている第一人者。

近年は新大陸最古(約4800年前)の神殿「ラス・シクラス遺跡」を発見し各メディアに大きく取り上げられ世界的な注目を浴びる。

アンデス考古学・アンデス文化に関する知識に加え、日本や旧大陸の歴史・文化に対する造詣も深く、圧倒的な知識に加え、難解な事例を専門家でも理解できるよう分かりやすく説明できる技術を持ち合わせている。

【出演番組】

世界ふしぎ発見! 緊急レポート ペルー・謎の遺跡シクラス アメリカ大陸最古の文明を追え!! 2006年9月放送

天野博物館

天野博物館は実業家・天野芳太郎(1898~1982年)が、ペルーの首都リマ市に私財を投じて1964年に設立した本格的なアンデス文化に関する考古学博物館です。

首都リマのミラフロレスという美しい住宅街にある3階建てのこじんまりした建物の中には、チャンカイ文明(ペルー中部で紀元後1000-1400年頃栄えた文明)の遺品を中心にした粒よりの名品が、一工夫した並べ方で展示されています。

展示・収蔵品は数万点。日本人が海外でこのような博物館を創設した例はなく、そのユニークな展示方法や解説の仕方とあいまって極めて個性的な文化ポイントとして注目を集めています。1967年5月14日には皇太子御夫妻が来訪。天野氏がパチャマカ遺跡や館内をご案内し、視察されました。

